

JAPANESE PATENT OFFICE  
LAID-OPEN UTILITY MODEL PUBLICATION

Publication No.: Sho 62-177305  
Date of Laying Open: 11 November 1987  
U.M. Application No.: Sho 61-65175  
Date of Filing: 1 May 1986

Inventor: Keiichi Shigeki  
37-13, Kita-senzoku 1-chome, Ohta-ku, Tokyo, Japan

Applicant: Sachiko Shigeki  
37-13, Kita-senzoku 1-chome, Ohta-ku, Tokyo, Japan

Attorney: Jinnosuke Kakuda

Title of the Device: Spike Plate Mounting/Dismounting Structure in Golf Shoe

Abstract: The present device aims at providing a structure for mounting and dismounting a spike plate to and from a golf shoe, which permits the spike plate to be detachably connected with the golf shoe with ease, so that, for instance, the golf shoe may readily be used as a town shoe when the spike plate is detached therefrom.

Such spike plate mounting/dismounting structure in the present device is characterized by comprising: a spike plate in which spikes are securely implanted; and a spike plate mounting member provided in a sole of the shoe, the spike plate mounting member being adapted for allowing such spike plate to be mounted thereon, wherein one or both of those spike plate and spike plate mounting member may be formed from a magnetic material as an independent element, thereby allowing the spike plate to be readily mounted to and dismounted from the sole of shoe, as desired. The structure of the present device therefore utilizes a magnetism, which greatly facilitates the ease with which the spike plate is mounted to and dismounted from the shoe.

# 公開実用 昭和62- 177305

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭62- 177305

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

A 43 B 13/26  
5/00

識別記号

3 0 3

庁内整理番号

Z-6617-4F  
7731-4F

⑭ 公開 昭和62年(1987)11月11日

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ゴルフ靴のスパイク板着脱構造

⑯ 実 願 昭61-65175

⑰ 出 願 昭61(1986)5月1日

⑱ 考 案 者 紫 垣 圭 一 東京都大田区北千束1丁目37番13号

⑲ 出 願 人 紫 垣 幸 子 東京都大田区北千束1丁目37番13号

⑳ 代 理 人 弁理士 角田 仁之助



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

ゴルフ靴のスパイク板着脱構造

### 2. 実用新案登録請求の範囲

スパイクを植設したスパイク板と靴底に設けた該スパイク板の装着部材との両方又は一方を磁性体で別体に構成し着脱するようにしたことを特徴とするゴルフ靴のスパイク板着脱構造。

### 3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案はゴルフ靴のスパイク板着脱構造に関するものである。

(従来の技術)

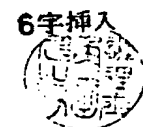
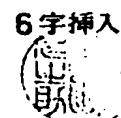
この種の従来の技術を記載した刊行物として実公昭55-40002号公報に示されたもの(以下従来技術という)がある。

従来技術を第2図(a), (b), (c)に示し、第2図(a)は従来のスパイク板を取付けた靴底断面図、第2図(b)は従来のスパイク板を取外した靴底断面図、第2図(c)は従来のスパイク板の斜視図である。

(1)

各図に示す如く、従来技術の考案は、靴本体  
 10とスパイク板<sup>1-1</sup>aおよびスパイク板<sup>1-2</sup>bとスパイク板取付用平頭ビス11とからなり、スパイク板<sup>1-1</sup>aおよびスパイク板<sup>1-2</sup>bは基板にスパイク2を立設すると共にビス挿通孔11-1を形成し、且つビス挿通孔11-1の孔縁を平頭ビス11の平頭が没入するテーパ凹部に形成し、靴底はその本底部7の、スパイク板<sup>1-1</sup>aおよびスパイク板<sup>1-2</sup>bのビス挿通孔11-1に一致する部分にビス螺入部を形成してこのビス螺入孔の孔縁もテーパ凹部に形成し、且つビス螺入孔の深さを前記平頭ビスの長さ一致させるように構成したものであって、その目的とするところは、ゴルフシューズとして使用するものであるが、タウンシューズにも変更使用できる靴を提供しようとするもので、この靴はスパイク板を取付けることによってゴルフシューズとなり、又スパイク板を取外すとタウンシューズとして使用できるので、ゴルフ場往復の際便利であるという効果を有するものである。

(考案が解決しようとする問題点)





ゴルフシューズは可成り嵩ばり又重量もあるため携帯に不便であり、更に靴の履き替えも仲々面倒なものである。そのために従来練習場への往復用とゴルフ練習用に使用できるように、靴底にスパイク板を着脱できる構造のゴルフ靴が、例えば前記従来技術など使用されているが、スパイク板の着脱には手間がかかり、また構造が複雑であって比較的高価であるという欠点があった。

(問題点を解決するための手段)

本考案は前記問題点を解決するために、ゴルフ靴のスパイク板着脱構造において、スパイクを植設したスパイク板と靴底に設けた該スパイク板の装着部材との両方又は一方を磁性体で別体に構成し自在にスパイク板を着脱する構造とした。

(作用)

前記の通りのゴルフ靴のスパイク板着脱構造としたので、例えばゴルフ練習場の往復にはスパイク板を外した状態でこの靴を使用し、練習時にスパイク板を装着部材に装着すれば、スパイク板及び装着部材の両方又は一方が磁性体で構成されて

いるので容易に装着ができ、また練習後には再びスパイク板を外してタウンシューズとして使用できるのである。

( 実施例 )

本考案の 1 実施例を図面とともに説明する。

第 1 図 (a) は本考案の 1 実施例の靴底斜視図、第 1 図 (b) は本考案の 1 実施例のゴルフ靴正面図、第 1 図 (c) は着脱構造を示す 1 部断面側面図、第 1 図 (d) は他の着脱構造を示す 1 部断面側面図、第 1 図 (e) は本考案の 1 実施例のスパイク板装着詳細図である。

各図において、1 はスパイク板、2 はスパイク、3 はスパイク板の装着部材、4 は係合凸部、5 は装着手段 a、6 は装着手段 b、7 は本底、8 は踵部、10 は靴本体、16、17 は接着剤層、18 はスパイク支持板である。

スパイク板 1 は磁性体よりなるが、例えば図では磁性材料とプラスチックで形成したいわゆるマグネティックシートであり、靴本体 10 の本底 7 の前方部の平たい部分の大きさより小なる外形を





有していて、片面にずれ止め用の係合凸部 4 が糊付等の手段により適宜設けられ、また他の面にはスパイク支持板 1 8 に植設したスパイク 2 が適宜設けられている。又スパイク板 1 のほぼ中央部に装着手段 a , 5 が設けられているが装着手段 a , 5 は第 1 図 (a) , (b) , (c) に示すように平ねじ 9 でスパイク板の装着部材 3 に装着するための孔である。スパイク板の装着部材 3 は磁性体よりなっており、図ではスパイク板 1 と同様にマグネットシートを用いたが、靴本体 1 0 の本底 7 の前方部の平たい部分の大きさとほぼ同じで、本底 7 に接着等の手段で固着されている。スパイク板の装着部材 3 には、ずれ止め用の係合凹部が前記スパイク板 1 の係合凸部 4 の対向個所に適宜設けられ、またスパイク板 1 の装着手段 a , 5 の装着孔と対向する個所にねじ孔が設けられている。

靴本体 1 0 と底部の本底 7 とから靴はなっているが、本底 7 の前方部下方に前記の通りスパイク板の装着部材 3 が固着されており、また後方部には踵部 8 がある。スパイク板の装着部材 3 にスパ

イク板 1 が磁力の接着と共に装着手段 a , 5 に平ねじ 9 で装着されると靴本体 10 と本底 7 とからなる靴はスパイク付きのゴルフ靴となりゴルフ練習等に用いることができる。スパイク板 1 を装着手段 a , 5 の平ねじ 9 をはずしてスパイク板の装着部材 3 から除去すると靴本体 10 と本底 7 とからなる靴はタウンシューズとなって例えば、ゴルフ練習場への往復などに使用することができる。

このようにスパイク板 1 の着脱により、ゴルフ靴とタウンシューズとに両様に使用することが可能である。第 1 図 (d) に示す如く、スパイク板の装着部材 3 にスパイク板 1 の両端部をはさみ込むような構造の装着手段 b を設けておけばスパイク板 1 は磁力でスパイク板の装着部材 3 に接着するので特に平ねじ 9 で螺着するような必要もなく、容易に着脱が可能である。

以上詳細に述べたようにスパイク板 1 及びスパイク板装着プレートをマグネットシート材として構成すれば磁力によりスパイク板 1 が所定位置に接着するので手間がかからずスパイク板 1 を装着







手段と共に装置できる。又ずれ止め係合部が設け  
であるので、例えばゴルフプレーヤーのスイングな  
どで靴部に水平方向等の力がかかってもスパイク  
板 1 がずれるようなこともなく、所期のゴルフ練  
習が効果的に行なわれる。

なお、説明の都合上スパイク板 1 およびスパイ  
ク板の装着部材 3 の両方が磁性体のマグネチッ  
クシートとして説明したが、一方が磁性体であっ  
てもよく、この場合、対向の他方は金属部材であ  
る。

#### ( 考案の効果 )

以上詳細に述べた如く、本考案は磁性を応用し  
たスパイク板の自在な着脱構造であるので、本考  
案を実施したゴルフ靴においては、着脱操作が非  
常に容易となり、また着脱時の装着手段操作の際  
にスパイク乃至スパイク板がスパイク板の装着部  
材を固着した靴底に吸着するので、装着手段の部  
材を手などで別に押えておくなどのわずらわしさ  
がない。スパイク乃至スパイク板が靴底に吸着す  
るので前記のような簡単な装着手段で装着しても、

ずれ、あおり等の使用中の異和感が生じない。装着手段として簡単なものを使用することができるので着脱操作が容易となり、また、十分な磁力を有するスパイク板の使用や、第1図(d)に示したような装着手段bの使用の場合は、装着手段に平ねじ等の装着部材を使用しないでも十分可能である等の効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図(a)は本考案の1実施例の靴底斜視図、

第1図(b)は本考案の1実施例のゴルフ靴正面図、

第1図(c)は着脱構造を示す1部断面側面図、

第1図(d)は他の着脱構造を示す1部断面側面図、

第1図(e)は本考案の1実施例のスパイク板詳細図。

第2図(a)は従来 of スパイク板を取付けた靴底断面図、

第2図(b)は従来 of スパイク板を取外した靴底断面図、

第2図(c)は従来 of スパイク板の斜視図である。

1 … スパイク板、 2 … スパイク、 3 … スパイク

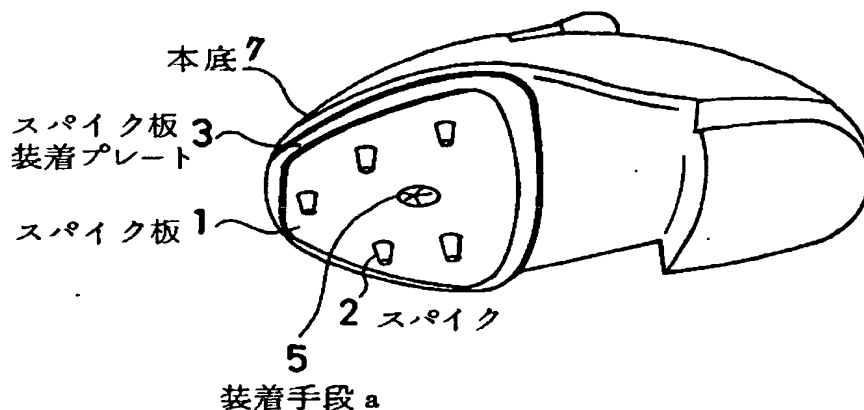




板の装着部材、1 - 1 …スパイク板 a、1 - 2 …  
スパイク板 b、4 …係合凸部、5 …装着手段 a、  
6 …装着手段 b、7 …本底、8 …踵部、9 …平ね  
じ、10 …靴本体、11 …平頭ビス、18 …スパ  
イク支持板。

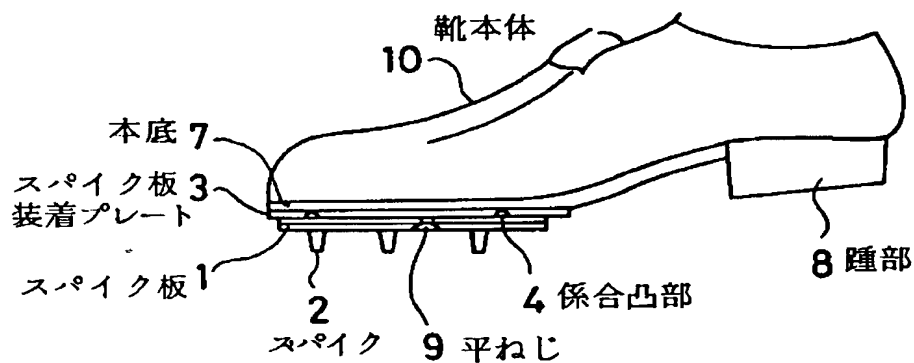
実用新案登録出願人 紫 垣 幸 子  
代 理 人 角 田 仁 之 助





本考案の 1 実施例の靴底斜視図

第 1 図(a)



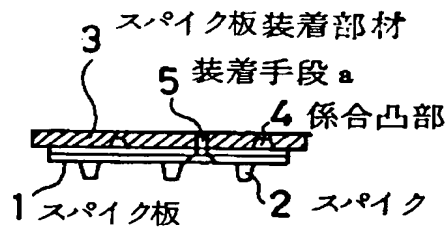
本考案の 1 実施例のゴルフ靴正面図

第 1 図(b)

3、 48

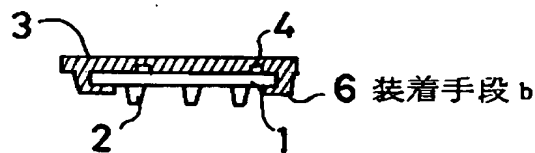
実用新案登録出願人 紫 垣 幸 子  
代 理 人 角 田 仁之助

実用62- 177 3



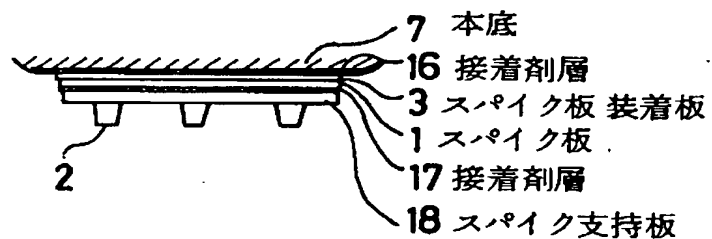
着脱構造を示す1部断面側面図

第 1 図 (c)



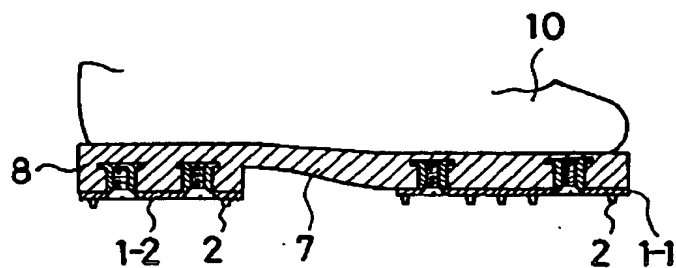
他の着脱構造を示す1部断面側面図

第 1 図 (d)



スパイク板装着詳細図

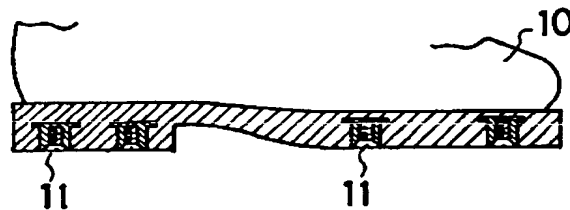
第 1 図 (e)



従来のスパイク板を取付けた靴底断面図

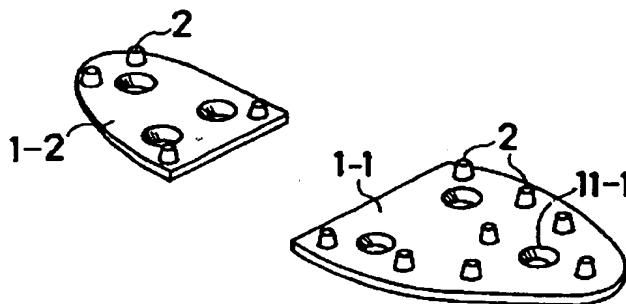
第 2 図 (a)

- 1-1: スパイク板 a
- 1-2: スパイク板 b
- 2: スパイク
- 7: 本底部
- 8: 踵部
- 10: 靴本体
- 11: 平頭ビス



従来のスパイク板を取外した靴底断面図

第 2 図 (b)



従来のスパイク板の斜視図

第 2 図 (c)

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ BLACK BORDERS

☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☐ FADED TEXT OR DRAWING

☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☐ SKEWED/SLANTED IMAGES

☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**